

# JAやまがた

山形市・上市市・山辺町・中山町

1  
2019



広報誌 JAやまがた

2019 / 1月号

発行 / 山形農業協同組合

〒990-8535 山形市赤穂町1-12-35

TEL.023-641-3121

FAX.023-631-4714

http://www.jayamagata.or.jp/



04 新春座談会

## 野菜ハウス団地で 魅力ある農業を!

12 旬の料理 秘伝豆とカニの炊き込み御飯



JAやまがた  
公式  
Facebook

## 秘伝豆とカニの 炊き込み御飯



### ●材料 (4合分)

- 秘伝豆…150g
- うるち米…3合
- もち米…1合
- カニ(缶詰)…1缶(約120g)
- かつおだし汁…約600cc
- だし昆布…1切
- 塩…少々
- 白醤油…小さじ½

### ワンポイントアドバイス

ふっくらと茹で上がった秘伝豆の仕上がりを保つために、米の炊き上がりまで軽くラップをかけておいてください。



養口 愛 / 『御料理 白ぎく』/ 昭和27年創業。女性ばかりで営む大小4室だけの日本料理店。家庭的な雰囲気、四季折々の山形ならではの味をお楽しみいただけます。/ 山形市七日町4-5-5。TEL.023-622-5820。要予約。



1 秘伝豆は一晩たっぷりの水に浸けて戻す。鍋にだし汁を準備し、戻した秘伝豆と塩ひとつまみを入れ、火にかけ沸騰させる。アクが出たら取り除く。



3 ボールに重ねたザルにあけ、茹で汁を分ける。さらした米に茹で汁を加え、白醤油を足し、少し混ぜてから炊く。足りないところはだし汁を足して炊く。



2 うるち米ともち米を合わせて研ぎ、ザルにあけて水気を切っておく。弱火で15分茹でた秘伝豆の鍋に、カニを汁ごと加え、火を止める。



4 取り分けた秘伝豆とカニには、ラップをかけておく。米が炊き上がったら、取り分けておいた具をのせ、さらに5分蒸らす。よく混ぜ合わせていただきます。

### 読書の ススメ

新しい発見を  
あなたに



あまくないからおいしいお菓子  
ギリギリの甘さで仕上げる新しい  
おいしさ。

坂田阿希子 著  
定価(税込) 1,620円

「お菓子は甘いもの」という常識を覆す、新感覚のお菓子レシピ。ギリギリの甘さで仕上げることで、素材の香りやコクが際立つ。甘いものが好きな人もそうでない人も、一度食べたらくせになる、大人のスイーツ。

購読申し込み  
経済課 TEL.023-624-8567



今月の表紙 /  
齋藤 花菜子さん (山形市下東山)

齋藤さんは専門学校を卒業後、約5年間、山形と東京の生花店に勤務していましたが、26歳の時、菊と葉牡丹などを生産する、お父さん(年さん)のお手伝いをしながら、農業をスタート。葉牡丹は白色、赤色、葉に細く深い切れ込みが入ったものなど7種類を生産され、12月中旬から年内にかけて収穫し、お正月用としてJAやおいしさ直売所へ出荷されています。お子様3人の子育てに奮闘しながら、笑顔で花作りをされている齋藤さんの葉牡丹はとても華やかでした。



山形農業協同組合  
代表理事組合長  
板垣 平治郎

あけましておめでとうございます。組合員並びに地域の皆様におかれましては、新年を穏やかにお過ごしのことと拝察し、心よりお慶び申し上げます。また、常日頃より農協事業に対する格別のご理解とご協力を賜っておりますことに、あらためて感謝申し上げます。

さて平成三十年も引続き農業にとって厳しい一年となりました。相次ぐ気象災害は管内の農産物に大きな影響を与えました。ラウランズス、りんご等において、数量は軒並み平年を下回る結果となりました。また米については米政策転換初年度として不安の中スタートし、大きな混乱はなかったものの、十四年ぶりの「やや不良」となり、生産農家にとりましては、大きな痛みとなりました。また今後も高齢化による担い手不足、労働力不足は大きな課題となります。加えて国からの内圧、そして米国を中心とした外圧にも対応する対策も必要となります。

そのような厳しい状況の中、今年五月を節目とした「農協改革集中推進期間」の中で当JAは順調に自己改革に取り組んでおります。これまで二元販売を実施し販売力強化に努めてまいりました。また、昨年三月より「JA

やまがた野菜ハウス団地」により若い担い手がきゅうり栽培に情熱を持ち大きな収穫を上げる事が出来ました。きゅうりは既に産地ブランドの起爆剤として大いに夢のもてるものとなりました。また新たにシャインマスカットの団地化を開始します。生産者の喜びとともに消費者の喜びは改革にとって意義のあるものであります。

四月においしき直売所「落合店」がオープンします。「落合店」は管内で一番の広さを誇る大きな直売所となります。現在三店舗で年間来店者数七百二十五万人と多くのお客さまよりご利用いただいている元気のある直売所は、組合員の皆様と地域の皆様とメンバーシップを図れる場所です。更なるアイデアを出しながらJAやまがた直売所は今年も皆様に愛される直売所としてまいります。

また、小学生を対象にいのち、食べ物の大切さ、それを育む農業や自然の大切さを学ぶ場として「わんぱくあぐりスクール」の開校。お子様の健やかな成長を担う「二升餅背負いの集い」。各支店、センターでのふれあい祭り、地域の特産物を生かした学校給食への農産物の提供等地域密着型、そして無くてはならないJAやまがたを指し取り組んでおります。今年早々に正・准二万人を超える全組合員の皆様にしましたアンケート調査を実施します。ご協力をお願いするとともに、JAへの必要性を表していただきますよう、切にお願い致します。

平成二十八年に臨時総代会を開催し経営改革に着手しました。組合員の皆様への出資配当を含めその成功は揺ぎ無いものと確信をしております。

また、今後二年間の経営の指針となる第七次経営刷新計画をもとに事業を展開する事となります。これまでの収益構造が大きく変化し、大変厳しい時代を乗り越えていかなければなりません。その為には妥協は許されません。先人が築き上げたこの農業協同組合を後世に伝える役目が私達にはあります。今後も改革に取組んでまいります。

JAグループでは「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本目標に掲げております。農業はIT等を駆使した成長産業として期待されております。時代の要請に応えながらも、協同組合理念の原点に立ち返り組合員目線のもと、その未来に希望と夢をもって農業にしていけるのがJAとしての責務であります。

今年亥(猪)年です。昨今の猪は何かと世間を騒がせ悪者のイメージがあります。しかし亥猪は勇気と冒險の象徴です。猪のように猪突猛進「前へ前へ」の精神はどんな難局も切り拓いていく力を持つものと信じております。

平成の時代から新時代の幕開けを迎える今年、今年も役職員一丸となり、協同の成果を実現できるよう取り組んでまいります。今後とも多大なるご協力をお願い申し上げます。

結びに皆様のますますのご健勝をお祈り申し上げ、新年のごあいさつと致します。

平成三十一年 元旦

# 今年役員改選の年です

山形農業協同組合

今年、組合員の皆様は今後、JAの運営に携わる役員(理事・監事)を選ぶ大切な年になり、平成31年5月開催予定の第22回通常総代会で役員改選が行われます。JA役員は、JA運営の重要な役割を担っており、皆様が「どういう人を選ぶか」は、JAが組合員のために役に立ち、農業の発展につながるかどうかの岐点になります。

## 役員選任までの流れ

当JAでは、一昨年すべての支店統廃合が終了し、総代、運営協力委員とも統合後の支店に一本化となりました。これを受け役員選任についても、これまでの34推薦区による地区推薦会議を改め中央、西部、南部、北部の各ブロックを地区推薦会議とする事となりました。

総代会へ役員選任議案を作成するにあたっては、正組合員の中から役員推薦委員を選出し、4ブロックにて役員推薦会議を開催します。その方々を中心に、組合員の皆様の意見をいただきながら、選出手続きが取られ、最終的にJA全体の役員推薦会議で推薦を決定し、それを基に理事会で選任議案を決議、総代会に提案することとなります。

なお、選出手続きは、自薦・他薦、選挙・推薦など様々な方法があり、各ブロックの役員推薦会議で決定されることになっています。スケジュールは支店窓口への公告や役員推薦委員などを通じて周知されますので、よろしくお願ひします。

## 農協法改正に伴う役員構成の見直しとJAの対応

平成28年4月に改正農協法が施行され、役員体制などの見直しが行われており、今回の役員改選から適用されることになっています。改正農協法では、農業者の所得向上に向けた経済活動を積極的に行えるようにするため、理事の過半数は「認定農業者」または「農畜産物の販売その他農業協同組合が行う事業または法人の経営に関し実践的な能力を有する者」とすることが定められました。

当JAでは、現行の選任方法でも認定農業者および実践的能力者が理事の過半数を占めていることから、これまでどおり、地区代表役員については、推薦会議・推薦委員が、役員の資質・能力を備えた適任者を役員候補者として推薦することとしています。ただし、理事については、地区ごとに推薦した結果、認定農業者および実践的能力者がJA全体で過半数に満たなかった場合には、再選出することもあります。

また、男女共同参画の実現に向けて、女性役員の登用についても積極的に進めております。

## 役員選出にあたって

役員選出にあたっては、法・定款・規約の趣旨にもとづく有資格者であるほか、次のような基準を備えた人物を選出することを理事会・役員推薦会議で申し合わせを行っています。

1. 役員の選出にあたっては、農協法・定款・規約の規定を遵守する。
2. すべての組合員と一緒に協同活動に努力する人を選出する。
3. 自らJAの事業を利用し、率先実行する行動力のある人を選出する。
4. 組合員の財産を安心して任せられる私利私欲のない道義心の高い人を選出する。
5. 組合員を差別しない公正な人を選出する。
6. 選出にあたり、反社会的行為に関与しない「十分な社会的信用」を有している候補者を選出する。

## 「新春座談会」

# 野菜ハウス団地で 魅力ある農業を！

当JAは新たな担い手の育成と農業所得向上、農業振興を図るため、「野菜ハウス団地」を造成し平成30年4月より生産が始まりました。当JAで初めて取り組みましたハウス団地を積極的にご利用いただきました皆さまと、板垣組合長がハウス団地の取組みや今後目指すべき農業について熱く語っていただきました。



## JAでも 全力で支援し応援

**板垣** 野菜ハウス団地につきまして、皆さまから大変頑張っていた様子、今年度はきゅうりの単価、収量とも非常に結果が良く、感謝申し上げます。  
当JAは1億円以上市場への販売高がある青果物が約10種類あります。その強みを活かし、いかに生産者の所得に結びつけるかを考え、ハウス団地の造成、直売所の強化に取り組んでおります。  
今日の座談会では、皆さまが実際にハウス団地を利用してみて、感じたこと、要望などを話していただき、JAとしてもしっかりとバックアップしていきたいと思っています。

## きゅうり栽培に 魅力を感じた

——利用者の皆さまに野菜ハウス団地できゅうり栽培をしてみたいの感想をお伺いします。  
**丹野** 大玉トマトと違って、割れとか規格外品がほとんどなく、生食で全部商品になり収入に繋がったので良かったです。  
**佐竹** 栽培に関しては栽培指導員の武田さん、吉田さんをはじめ、サポートしていただいたので心配ありませんでした。規模を大きく借りている分、選果場が終了してからも出荷していたのですが、手詰めが大変で、悩んでいた加温栽培をせずに終わってしまったのが来年度の課題かなと思っています。



野菜ハウス団地できゅうり栽培に励む利用者の皆さま

**佐藤** 私は水稲と、南沼原宮農団地組合で大豆の生産をしています。そこに、きゅうり栽培が重なってしまい、きゅうりが少し中途半端になってしまいました。もう少しうまくやれば、収量をもっと増やせたのかなと感じています。

**推名** 私は初心者なので、今はきゅうりしか経験がないのですが、1年を通して安定した収量があったので良かったです。最盛期は午前も午後もきゅうりに付きっきりな状態になっ

ていたので、来年度から作物を増やす場合は時間調整も考えながら取り組むことが重要になると思います。  
**吉田** 自分でもきゅうりの抑制栽培をしていたのですが、今年からハウス団地で無加温と抑制栽培、両方を始めて、水稲、トマト、大豆など他の作物との両立がとても大変でした。ただ、きゅうりは促成栽培をすれば4月から収入があることはとても大きいと思います。

**板垣** 今年に関しては4月からの定植という事で時間が限られたなかでのスタートでした。それが、他の作物栽培との両立に少し影響が出てしまったのではないかと思います。来年度からは1月からハウスが使えるという事で促成栽培や早めの定植で作業の分散化ができます。4月の忙しい時期になって他の作業と重

複しないような効率の良い作業ができるのではと考えています。  
**吉田** きゅうりは収入が良いと実感し、促成栽培にも魅力を感じます。ただ家ですとトマトをしてきたので、今までのお客さんや仕事の状況を考えると、春からずっと、きゅうりというのが少し厳しく、組み合わせを考えながら、ハウス団地でトマトも栽培してみたいのですが。

**板垣** ハウス団地でのトマト栽培に関しましては、当初の段階から県のの方に申請しています。ただし、一作はきゅうりを栽培していただきたいです。行政からも支援をいただいている関係で、初年度はきゅうりで3千万円の売上げを上げるという県との約束がありました。皆さまから頑張っていたいただき11月末での実績で3千万円以上の実績を上げていた





野菜ハウス団地を  
ご利用いただいている  
6名の方々



### 佐竹良輔

**Satake Ryousuke**  
出身：山形市黒沢  
就農：平成25年（6年目）  
非農家出身のため、ハウスを借りてトマト、きゅうりを栽培。ハウスの規模拡大のため、野菜ハウス団地での栽培をスタート。



### 吉田健太郎

**Yoshida Kentarou**  
出身：山形市南館  
就農：平成25年（6年目）  
家族3名でトマト、きゅうり、米、露地野菜を栽培。ハウスの面積を増やそうか検討していたことと、既存のハウスが土壌病害で1年休ませようと思っていたので応募。



### 佐藤庸介

**Satou Yousuke**  
出身：栃木県  
（現在・山形市南館）  
就農：平成24年（7年目）  
米、トマト、きゅうりなどを生産。ハウスを増やそうか悩んでいたところに、タイミング良く、野菜ハウス団地の話を聞き、規模拡大のため応募。



### 丹野智広

**Tanno Tomohiro**  
出身：山形市見崎  
就農：平成26年（5年目）  
大玉トマトを生産。きゅうりの産地である西部地区で、農業経営を確立し、技術を学べることに魅力を感じ、取り組んでみようと思。



### 推名俊一

**Suina Syunichi**  
出身：山形市飯塚町  
就農：平成30年（新規就農）  
昨年、会社を退職し、農業をスタート。「独立して、栽培から農業まで学んでみては」という農業を営む父からのアドバイスもあり、野菜ハウス団地でのきゅうり栽培に挑戦。



### 田中裕蔵

**Tanaka Yuuzou**  
出身：山形市飯塚町  
就農：平成29年（2年目）  
米や野菜を生産。ハウスを建てる予定だった転作畑が野菜ハウス団地になったため利用開始。（新春座談会には都合により欠席）



### 板垣平治郎

**Itagaki Heijirou**  
昭和22年、山形市蔵王生まれ。蔵王農業協同組合理事、山形農業協同組合理事などを経て、平成24年に山形農業協同組合代表理事組合長に就任。ブドウ栽培のキャリアは40年以上。

る私にとって、ありがたかったです。目の前に営農センターがあつて、いつでも指導員やベテラン農家の方に相談でき、手厚いサポートをしていただき、至れり尽くせりの環境でした。

**丹野** 私もきゅうり栽培は初めてでしたが、選果場や営農センターが近くて、すぐに出荷できますし、最新の情報をいち早く提供していただいたのも助かりました。また、みんな同じ作物を作っているの、自分のものと比較して参考になりました。

**利用者の意見を取り入れながら、より良い施設に**

だいています。本当に感謝しています。良いスタートが切れたというのは我々としても喜ばしいことです。

**始めてでも安心して取り組めた**

—— ハウス団地のメリットはどんな

ところですか。

**吉田** 土地の確保、ハウスの建設費等、自分でするより負担が少ないと思います。契約更新が1年単位です。早期退職した人が農業を始めるにも、後継者やローンの心配がないので取り組みやすいと思います。

**佐藤** 私の家では、畑の場所が転々としていきます。団地のようにハウス

います。

**佐藤** ハウスの隙間風で熱が逃げてしまっているのが燃料費がもつたないかなど。隙間風が防げる方法があれば教えていただきたいです。

**板垣** 基準点を設けて全部ハウスの高さを統一したので、下の方に隙間が出てしまいました。その後調整したのですが、まだ若干の隙間があります。畦シートの低いものを内側に巻くしかないのかなと思っています。

**佐竹** できれば長くハウス団地を借りていきたいと考えていますが、10年、20年使用しても利用料は同じですか。家には作業小屋がありませんので、選果場の稼働終了後、場所を借りて作業をさせていただき大変助かりました。これからも継続していただけるとうれしいです。

**丹野** 経年劣化でビニールを張替えることになった時に費用を出すのが負担となるので、積立をするなど対策を考えていただきたいです。

**板垣** 45万円（税別）の利用料金については、できる限り利用者の負担にならないように、きゅうりを年二回栽培した場合、販売高で500万を想定し、その1割くらいと設定しました。基本的にはこのままの利用料を維持していく考えですが、ビニール張り替えも含め、利用者の皆さまと対策を考え検討していきます。



**多収、高品質なきゅうり栽培を目指す**

—— 今回、色々な意見がでたところで、今後の目標を伺いたいと思います。

**丹野** 環境制御で単収が上がることを実感できたので、それを突き詰めて、10アあたりの収量を上げていくことが目標です。最終的には面積も増やして収入を上げていきたいと思っています。

**佐竹** 収穫量の増と病害を防ぎ良品質なきゅうり栽培。また、加温をして12月まで栽培に取り組んでみたいですね。

**佐藤** 今年度の経験を生かし、他の作物とのスケジューリングを調整し、多収、高品質なきゅうり栽培を目指したいです。

**推名** 規模を拡大し、きゅうり以外の作物も覚えていきたいです。

**家族農業を守る**

**板垣** 皆さまの前向きな意見をお聞きすることができ、大変心強いです。

私は各市場に様々な作物をトップセールスで行く機会がありますが、きゅうりの要望が特に強いです。当JAでハウス団地を造成し、きゅうり栽培に取り組んでいることは市場でも認知しています。過去5年のきゅうりの単価を見ますと、確実に上昇傾向です。皆さまにとっては追い風が吹いていると思います。

また、利用者の皆さまには模範となる農業経営者に育ってほしいと思っています。国は大規模経営を進めるが、家族農業も大切にしていかなければ地域社会そのものも崩壊してしまつと感じています。このハウス団地がしっかりと経営体で持っているように、JAとして全力でサポートしていきますので、これからも皆さまから協力していただければ大変ありがたく嬉しい限りです。今後ともよろしく願いたします。



—— ハウスの改善点やJAに要望はありますか。

**推名** トイレやトラクターなどの重機を入れる格納庫があればいいなと思います。

**吉田** 中央道路の舗装をお願いしたいです。雨天時に水が溜まって、ハウスの入り口まで車を寄せられない時があります。

**板垣** トイレは市・県に要望して、遅くとも31年度には導入する予定です。格納庫に関しても、既存のハウス、第2期工事中の新規のハウスの間に格納庫、作業スペース、休憩室などを検討しているところです。中央道路の舗装についても、最低でも碎石して改善できるように考えて

## JAの自己改革に関するアンケートへのご協力について

現在、JAは「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つの基本目標の実現に向けた更なる取り組みと、創造的自己改革の実践に取り組んでいます。

政府では規制改革実施計画を策定し、農業・農協改革を執行するようJAグループやJAに強く要請しており、改革の進展状況によっては、JA事業の見直し・准組合員の利用規制の検討などが行われます。今般、JAやまがた（JA全中）では、自己改革の取り組みに対する皆様の評価をお伺いして、より一層組合員の皆様の負託に応えるとともに、魅力ある地域の農業や暮らしを支えるJAであるために、組合員アンケートを実施することといたしました。

このアンケートの実施にあたっては、JA職員が皆様のご自宅へ訪問した際、主旨を説明させていただき、ご回答いただくことを予定しております。訪問の際には是非ともご協力をお願いいたします。

- 訪問予定日 平成31年1月～3月末を目途
- アンケート対象者 正組合員、准組合員の皆様
- 訪問した際の内容

JA職員より、説明資料、アンケート内容・回答用紙をお渡しいたしますので、ご回答のご協力をよろしくお願いいたします。



## 家畜を飼っている方へ

家畜を1頭・1羽でも飼っている方は、毎年2月1日現在の飼育頭羽数などを県に報告する必要があります。

前年に報告された方には、1月末に用紙が届きますので、頭羽数に変更がある場合は修正の上、山形県中央家畜保健衛生所へ郵送またはFAXで送付してください。

新たに飼育を始めた方や、飼育しているのに用紙が届かない方は、お手数ですが下記へご連絡ください。

お問い合わせ 山形県中央家畜保健衛生所 〒990-2161 山形市大字漆山736  
TEL.023-686-4410 FAX.023-686-5715

### 対象となる家畜の種類

牛、水牛、鹿、めん羊、山羊、馬（ポニー含む）、豚（ミニ豚含む）、鶏（烏骨鶏、チャボ含む）、うずら、あひる、きじ、だちょう、ほろほろ鳥、七面鳥

## 理事会だより

今回の報告・協議された項目から抜粋して掲載しています。

### 第11回理事会（11月27日開催）内容より

#### ● 報告事項

平成30年度上半期ディスクロージャー誌の縦覧等にかかる対応

第6次中期経営刷新計画の進捗状況

平成30年度産米集荷状況

JAやまがた野菜ハウス団地入札結果

#### ● 協議事項

平成30年度上期定期監査の個別意見書に対する回答書

農林中央金庫の預金奨励施設見直しに伴う利用率の選定

あぐりんランド  
348SS  
限定イベント

## バナナキャンペーン

15ℓ以上給油いただいた方に  
バナナプレゼント!

- 平成31年1月31日(木)
- 平成31年2月28日(木)



数量  
限定

・「灯油」は対象外ですのでご了承ください。  
・バナナ贈呈は1回1台。

お問い合わせ  
あぐりんランド348 TEL.023-643-5235

## 平成30年分 税務申告相談会 について

東北税理士会より派遣税理士を招いて税務申告（所得税・譲渡税・消費税等）の相談会を開催します。

※税務相談会で取り扱った申告書は派遣税理士が検証します。検証を受けない確定申告は受理できかねますのでご理解賜りますようお願い申し上げます。

お問い合わせ 資産サポート部  
TEL.023-624-8260

開催日	会場	対象支店
2月 6日(水)		東金井支店
2月 7日(木)	東金井支店	東金井支店・ひまわり支店
2月 8日(金)		東金井支店・山辺支店
2月12日(火)	天神支店	天神支店
2月13日(水)	高橋支店	高橋支店
2月14日(木)		
2月15日(金)	千歳支店	千歳支店
2月18日(月)	鈴川支店	鈴川支店
2月19日(火)	宮浦支店	宮浦支店・西部支店・南館支店
2月20日(水)	蔵王支店	山形南支店・蔵王支店
2月21日(木)	滝山支店	滝山支店・さくら支店
2月22日(金)	上山北支店	上山北支店・上山南支店
2月26日(火)	本店・資産サポート部	本店・資産サポート部

## おいしさ直売所 紅の蔵店 リニューアル OPEN



「蔵」をコンセプトに和モダン溢れる明るい店舗にリニューアルします。

オープン記念イベント開催  
平成31年  
2月1日(金) 9:30～

スタッフ一同、皆様のご来店を心よりお待ちしております。

店舗改装工事のため  
お休みさせていただきます。

平成30年  
12月31日(月)～  
平成31年  
1月31日(木)まで

改装期間中は、おいしさ直売所南館店、鈴川店をご利用ください。

## 組合員資格の 確認について

組合員資格に変動があった場合は、当JAの定款に基づき資格変更の手続きを行いますので、最寄の本店、支店へお申し出ください。

お問い合わせ 経営管理部 総務課  
TEL.023-641-3121

## 出荷証明書の 配布について

出荷証明書の配布時期については、平成31年1月24日(木)に本店から支店に送付させていただきます。

お問い合わせ 本店 営農経済部  
TEL.023-624-8562

## 山形市新春農業講演会のご案内

### ■ 演題

「おいしさ」をブランドに！  
こだわりの品種選びによる野菜づくり

■ 講師 鈴木農場・伊東種苗店（福島県郡山市）  
代表 鈴木 光一氏

■ 日時 平成31年1月29日(火)  
13:30～15:30

■ 場所 山形市農業研修センター（山形市東古館145）

お問い合わせ  
山形市農政課  
TEL.023-641-1212（内線437）  
（一社）山形市農業振興公社  
TEL.023-644-1622

入場無料  
申込不要

直接会場に  
お越しください

